

小中学校の扉

北中学校

「みそあじ」「ステージ」そして「連携」！

み・そ・あ・じ 運動

「おはようございます！」と、今日も元気な生徒の声が校庭に響きます。

北中学校では、毎月一週間「マナーアップ運動」を実践し、生徒会はもちろんクラスや部活動単位で教師と生徒が一緒に校門に立ち、あいさつ運動を実践しています。また毎週月曜日には厚生保護女性会



厚生保護女性会とのあいさつ運動

の人たちも参加し、連携の輪に入ってもらっています。さらには北中校区の小学校、市内の高校とも「朝のあいさつ運動」を行うなど「みそあじ」運動（み身だしなみ・そ掃除・ああいさつ・じ時間）を重点的に行い、生徒と教師が力を合わせて「よりよい学校、地域に誇れる学校」づくりを目指しています。最近では地域の人たちにも褒めてもらえるまでになりました。

12の「ステージ」

この運動を支えているのが、毎月の「ステージ」という言葉で表現している生徒と教師の重点目標です。4月は「出会い」、5月「自律」、6月「協働」、7月「挑戦」、8月「飛躍と充電」、9月「鍛錬」、10月「創造」、11月「対話」、12月は「向上」とし、各月を生徒会本部が

中心となり、目標を持って生活するよう生徒に呼び掛けています。

3学期には、学年や中学校生活を仕上げ、次のステップへつなげたいため、1月「立志」、2月「鍛錬」、3月「アクセス」とし、生徒一人一人がより自分自身を高めていく努力をしています。

教師・PTA・地域の連携

生徒の最後の仕上げ・頑張り応援しようと、PTAでは3月2日に教育講演会を開催しました。本来は保護者向けですが、今回は生徒も一緒に参加しました。講師は、大げかという挫折と逆境から立ち上がり未来に向けて挑戦し続けるシンガーソングライターの「うみ」さんでした。彼女の人生観や人を想う心のこもったトークと歌を聞き、涙する生徒もいました。彼女の歌は今後の人生の糧となって

くれることでしょう。

このように「ステージ」は、学校行事やPTA活動と連動することで生徒の内面へと響いていきます。そして教師・PTA・地域が一丸となって連携しながら「生徒一人一人が生きる学校」づくりのために、突き進んでいきたいと考えています。



うみさんと一緒に歌う

問い合わせ
8212

学校教育課 (☎50)